

大空は
明日へつづく

みんなの学校

出演:大空小学校のみんな

監督:真鍋俊永 ナレーション:豊田康雄 企画:迫川緑 プロデューサー:中尾雅彦 加藤康治 兼井孝之
撮影:大窪秋弘 撮影助手:堀貴人 編集:北山晃 編集協力:秦岳志 整音:中嶋泰成 音響効果:萩原隆之 題字:谷篤史
製作:関西テレビ放送 配給:東風

2014年 | 日本 | 106分 | BD・DCP | ドキュメンタリー ©関西テレビ放送

minna-movie.com



ふつうの公立小学校のみんなが笑顔になる挑戦
不登校も特別支援学級もない 同じ教室で一緒に学ぶ

子どもみらいへの
ステップ
に
て
上
映
決
定
!!

文部科学省特別選定

みんなの学校

平成25年度(第68回)
文化庁芸術祭大賞・受賞理由

他の地域では厄介者扱いされていた
転校生が、教師と同級生、そして
地域が包み込むことで、素直で
心優しい子供に成長していく姿は、
見ている者の心を熱くする。
この普通の公立小学校の試みは、
上からの教育改革とは一線を画す、
現場からの教育改革でもある。

すべての子供に 居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる発達障害がある子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。

学校が変われば、地域が変わる。 そして、社会が変わっていく。

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるようになっていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか？

この映画を見たとき、ほんとに驚きでした。一筋の光を見いだした思いでした。

「こんなこと、可能なのだ！」と、衝撃を受けました。そうです。子どもは親だけが育てるものでも、先生だけが育てるものでもありません。この映画のように凸凹のある子どもたちが尊重し合いながら育ちあうことができるのです。そして、周囲のおとな達の心強い見守りと援助があってこそなのです。

すべてのおとなたち、少し大きい子どもたちに、是非見ていただきたいです。

子どものことを語り合える地域にしていきましょう！

ひとりひとりが元気に暮らせる街にと、つながっていきませんか？

柴田愛子 (りんごの木子どもクラブ代表 / 保育者 / 絵本作家)

© 関西テレビ放送



こどもみらいフェスティバル

日時: **6月17日(金)** ◎1部 10:30~
◎2部 18:30~
会場: **都筑公会堂** センター南駅下車5分
都筑区総合庁舎内
料金: 前売 800円 当日 1,000円 後援: 都筑区

映画 みんなの学校 上映会!!

★上映後、意見交換会「talk with 柴田愛子」を行います。

詳しくはホームページをご覧ください ▶▶▶▶ kmfes.com

チケット
発売中!

Famiポート

ファミリーマート店内「Famiポート」にて、
「こどもみらいフェス」で検索~購入できます。

e+ イープラス <http://eplus.jp/km-fes/>

スマホ・携帯・パソコンで予約して、
コンビニ発券(ファミリーマート、セブン-イレブン/手数料無料)が
配送、スマチケ(e+アプリ)で受け取れます。